

1. 環境保全への取り組み

COP3契機にCO2削減を目指して

- ・天然ガス自動車導入
- ・環境を意識した輸送の効率化



2. 輸送の効率化～環境ビジネスへの展開

モーダルシフト～貨物ダイヤの拡大

3. 低公害車の導入

京都議定書に挑戦～クライメート・セイバーズ

- ・課題はインフラ整備

4. 政府に求められる施策

平成15年1月31日

佐川急便株式会社

代表取締役会長 栗和田 榮一 1

佐川急便株式会社

本社	京都市南区上烏羽角田町68番地
創業	1957（昭和32）年3月
営業収入	約7,130億円
営業利益	約460億円
従業員数	約36,000名
車両台数	約22,000台



営業収入、利益は平成15年3月予想

飛脚の精神（こころ）

社 是

佐川急便株式会社は

「迅速・確実・丁寧」をモットーに

- 一、顧客第一主義に徹する
- 一、地域社会の発展に奉仕する
- 一、責任と誠意を使命とする

こころを運ぶ

安全 環境
そしてサービス

すべての品質を世界標準へ。

東和田 榮一 

佐川急便21世紀統一スローガン

TRANSPORT!
COMMUNICATION
SAGAWA



21世紀統一スローガン

1. 環境保全への取り組み

環境と経済活動に関する懇談会

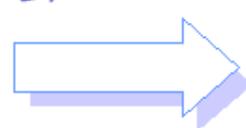
佐川急便の取り組み

‘97年COP3契機に

・地球温暖化防止⇒CO2の削減

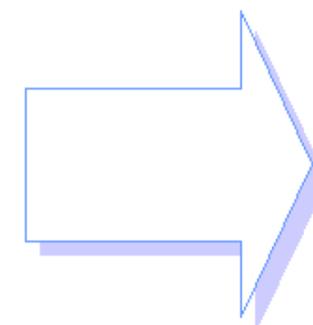


飛脚の精神(こころ)



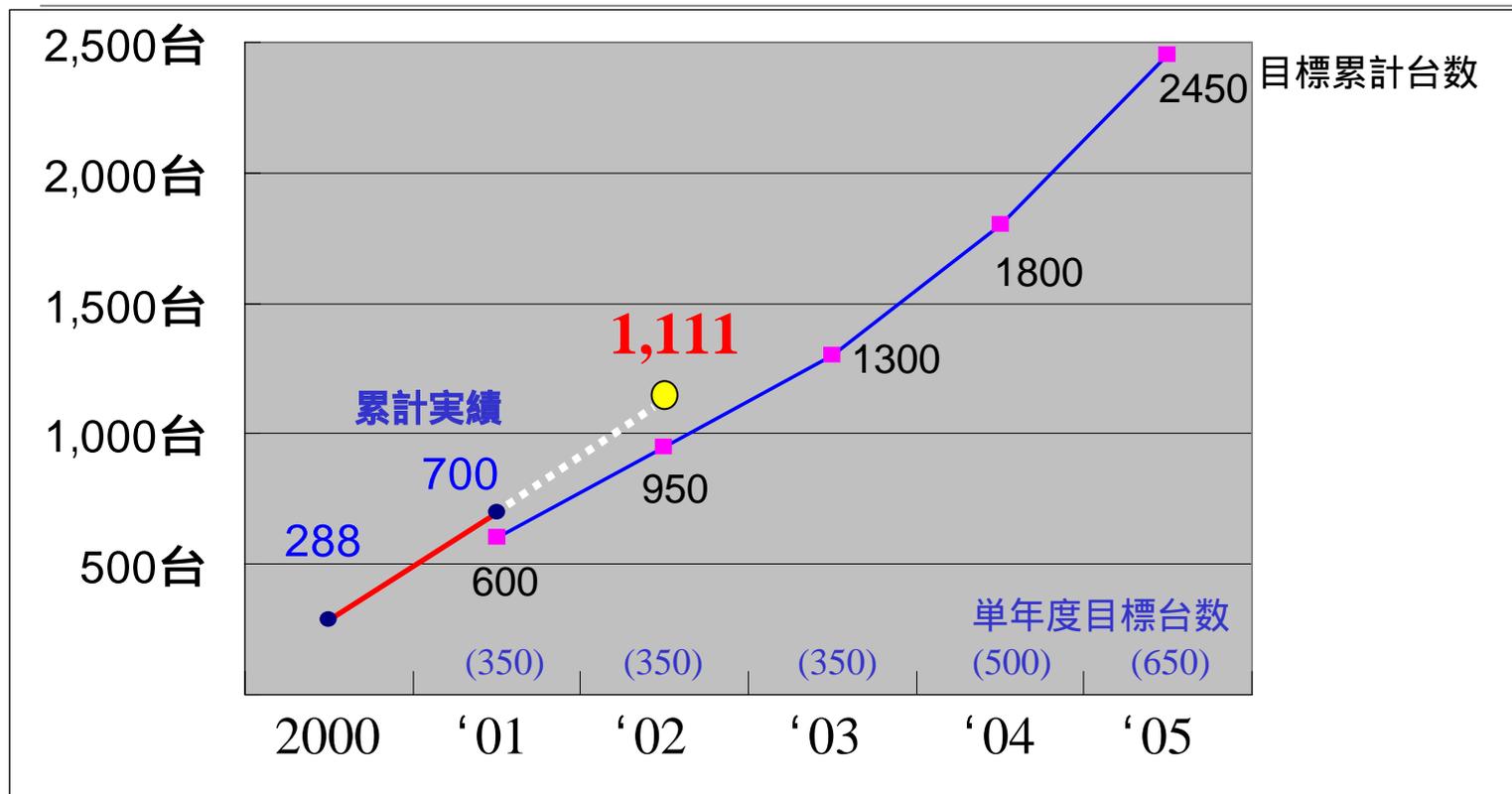
- ・天然ガス自動車導入
- ・輸送の効率化
モータルシフト～スーパーレールカーゴ
ハブセンター
佐川流通センター(SRC)
- ・アイドリングストップ
- ・環境啓発
- ・静脈物流
- ・グリーン購入
- ・森林保全

(経営戦略)



将来の消費者のニーズ
価値観の変換

1. 環境保全への取り組み 天然ガス自動車の導入



1,000台突破

国内天然ガストラックの約17%

1,000台導入時点での

CO₂削減率; 1.02%

NO_x削減率; 4.57%

ディーゼル車と比較した1台あたりのCO₂削減率20%、NO_x削減率90%として計算